



2025年 11月300号

ふるさと



グループホームあじさい園

「あきつめない心」

2ヶ月後に成人式を控えたごくごく普通のお嬢さん、伊藤真波さん。ICUのベッドで気がつくくと右腕はこなごな。歯もなく傷だらけの顔は薬の副作用でパンパンに腫れ、痛くて眠れない毎日。この現実から逃げ出したいくてベッドであれば「お母さん、助けて」と叫び続けた。こなごなにくだけた腕は感染し、いよいよ別れを告げるしか道はなく、力をふりしぼり自分の口でやっと言えた。「先生、私の右腕を切ってください」

当時、看護学校の2年生、学校を辞めてこれから一生実家で親と一緒に暮らせばいいと父母は言った。しばらくして学校の先生に「あなたはもうしたいですか。」と聞かれ、「もう逃げたくない、私は看護師になりたいです。」と答えた。先生は「それであれば看護師専用の義手を準備してください」と言われ、学校を続けられるよう国に働きかけ全力でサポートしてくれて、前例のない片腕の看護師となった。

しかし思うように生きられず、その時上司からかけられた言葉は「被害者ツラしない、助けて欲しいと言え、できないことはできないと言え」だった。何かにぶつかっても、自分で起き上げられる強い人間になりたいと決意し、水泳を始め、北京とロンドンオリンピックの競泳日本代表となった。

2015年結婚、3人のお子様に恵まれた。しかし、重さ3kg以上もの片腕がないとまっすぐ歩けない、首の座つてない赤ちゃんを抱っこできない、オムツが変えられない、お乳を飲ませることができない、お料理ができない、出かけられない・・・、しかし、少しずつ少しずつ足を使ったり、口を使ったり、工夫をしながらできるようになった。

静岡市で育った伊藤さんだが、関西の病院で働くことができ、笑顔になれたと感謝して、関西のこの町で家族と一緒に一生懸命生きていくことにした。優しいご主人と3人の娘様と幸せな暮らしをされている。

さらに、それだけではありません。伊藤さんはヴァイオリニストです。ヴァイオリニスト専用の世界にひとつの義手をつけて、肩甲骨の動きで弓をあやつり、見事に3曲披露された。幸せになりたいから、家族の喜ぶ顔が見たいから、一心不乱に伊藤さんの日常生活はつづきます。

11月の行事予定

9日(日) 秋祭り

11日(火) 運営推進会議

13日(木) カフェ「あい」

18日(火) 誕生日会

26日(水) 昼食会

※塩田医師の定期往診もあります。

あじさい園のホームページもご覧ください。

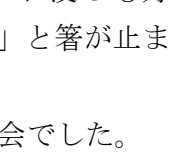
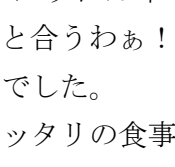
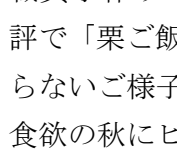
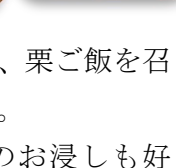
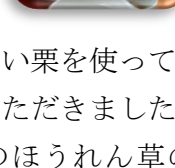
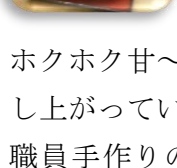


10月生まれが3人💡

乾様・下田様・三浦様のお誕生日をお祝いしました。「合同で祝ってもらうのも良いなあ♪」と喜んで下さり、賑やかな時間を過ごす事が出来ました！ケーキとコーヒーも絶品でしたよ♪



秋の味覚を堪能🍁



ホクホク甘〜い栗を使って、栗ご飯を召し上がっていただきました。職員手作りのほうれん草のお浸しも好評で「栗ご飯と合うわあ！」と箸が止まらない様子でした。食欲の秋にピッタリの食事会でした。

月ヶ瀬方面へ紅葉ドライブ🚗

